

2022年度 事業報告
自:2022年4月1日 至:2023年3月31日

1. 衛生及び品質の向上について

1-1. 食品衛生、品質管理技術の向上について

(1) 検査技術研修会の実施

- ① アイスクリームの成分、微生物に関する検査法を習得する「アイスクリーム検査技術研修会」を開催(12月、2月予定)、会員の製品検査技術の向上を図り、受講者の検査技術習得と品質意識の向上となることを目指した。



(2022年12月12~14日 8名参加、2023年 2月13~15日 7名参加)

- ② 関連団体等の研修会を案内して、会員企業の衛生品質の向上を側面支援した。

(2) 地区協会活動との連携

地区協会の施設見学会に参加して、食品行政の進捗状況や他社の衛生品質レベルの学びの場を共有した。

また、商品の品質確認、自主検査の精度を確認すべく、製品の細菌自主検査を実施した。



【関東協会:工場見学会】

(3) 衛生功労者の表彰

2022年12月8日の選考委員会において、各地区から推薦された衛生功労者候補者21名の承認を受けた。表彰式及び祝賀会は厚生労働省食品監視安全課 三木課長、一般社団法人 日本乳業協会 宮原会長を来賓として、日本アイスクリーム産業振興会会員も招き、3年ぶりに実施することが出来た。



【2022年度衛生功労者表彰式記念写真】

1-2. 表示の適正化推進について

- (1) 電子メール、電話等による問い合わせに対応し、表示に関する正しい情報を提供した。
- (2) 地区協会及び公正取引協議会共催による表示自主検査会及び表示技術セミナーを開催し、表示の適正化に努めた。本年もオンラインによるセミナーを併用して行った。
- ① 表示自主検査会：中四国(web)、北海道(対面)、東北・関東(対面)
- ② 表示技術セミナー：近畿(対面)、東北・関東(web)、東海(web)、九州(web)
- (詳細については常任委員会でご報告)

2. 消費拡大、PRについて

(1) アイスクリームフェスタの開催

「5月9日アイスクリームの日」を中心に、全国5か所で感染症対策を十分考慮して、アイスクリームのサンプリングを行った。

会場には巨大なガチャを設置し、「当たり」が出たらオリジナル QUOカードをプレゼントするなどの企画でイベントを盛り上げた。



【北海道 札幌市北3条交差点広場】 【関東 新宿タカシマヤ 1F 会場】 【東海 JR名古屋ゲートタワー1F】



【近畿 ららぽーとエキスポシティ】

【巨大ガチャ】

【九州 福岡三越ライオン広場】

日程	エリア	イベント会場
5月7日(土)	東海	名古屋市:JR名古屋ゲートタワー1F
5月7日(土)	九州	福岡市:福岡三越ライオン広場
5月9日(月)	北海道	札幌市:地下歩行空間北3条交差点広場
5月9日(月)	関東	渋谷区:新宿タカシマヤ1階特設会場
5月9日(月)	近畿	吹田市:ららぽーとエキスポシティ 光の広場

➤ 各地区とも配布個数は約 1,000 個

(2) ウェブコミュニケーションの活用

① 協会 SNS にて、アイスクリームに関連した様々な情報を発信・拡散することにより、アイスクリームファンの獲得に努めた。

＜会員各社キャンペーン告知のリツイート一部＞



② WEB キャンペーン

5月9日の「アイスクリームの日」にちなんだ「みんなのイチオシフレーバー大募集！キャンペーン」、恒例となった「写真投稿キャンペーン」、年末年始にかけて実施した「インスタントウィン+Wチャンスキャンペーン」の年3回の企画を実施した。

i) 「定番バニラだけじゃない！みんなのイチオシフレーバー大募集！キャンペーン」

バニラ以外でイチオシのフレーバーを投稿してもらい、抽選でA賞として59名様に15種類のアイスの詰合せを、B賞として100名様に500円分のオリジナルQUOカードをプレゼント。

フレーバー	投稿数概算
抹茶	4,789
ストロベリー	4,588
チョコレート	4,527
チョコミント	3,461
ラムレーズン	2,247
ピスタチオ	1,670
キャラメル	1,090
クッキー&クリーム	984
コーヒー	612
チョコチップ	599

応募件数:33,724 件



ii) アイスな瞬間の写真投稿キャンペーン

- 9月1日～10月31日までの2か月間で、応募件数 3,981 件
- 部門賞名称を変更したことにより、フリースタイル部門が大幅に続伸したが、友人や仲間に応募してもらうグループ部門は、依然コロナの影響からか低調が続いた



【最優秀賞と部門賞】



この他に各部門の入賞作が 50 点あり、いずれも明るく楽しく、ほのぼのとした写真ばかりだった。

iii)「アイスクリーム王子の運試しキャンペーン」

- 12月21日～1月9日まで協会のTwitterアカウントをフォローしリツイートするだけで「当たり」「ハズレ」がわかるキャンペーン
- さらに「#アイス王子の運試し」のハッシュタグをつけて今食べたいアイスのフレーバーをツイートするだけで、抽選で100名様に15種類のアイスの詰合せをプレゼント



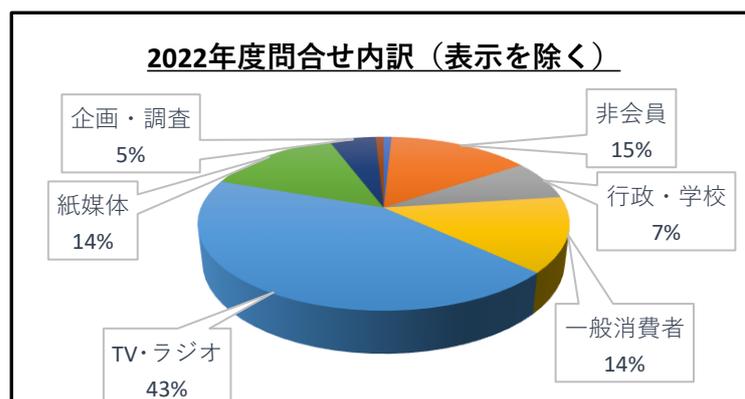
フレーバー	投稿件数 概算
バニラ	10,878
チョコレート	7,554
ストロベリー・いちご	4,935
抹茶	4,150
チョコミント	2,454
ラムレーズン	2,303
キャラメル	1,523
ピスタチオ	1,268
クッキー＆クリーム	678
コーヒー・カフェオレ	658
ナッツ系	615
フルーツ系	607
チョコチップ	565
チーズ系	465
紅茶系	276
あずき	221
芋系	158
ソーダ	74

キャンペーン参加件数	フォロワー獲得数	キャンペーン終了時 フォロワー数
453,565	47,790	157,240

3. 知識の普及・PRについて

(1) お客様、マスコミなどからの問い合わせ、取材への対応

電話、メールによる問い合わせやマスコミの取材に対応し、アイスクリームのPRに努めた。2022年度の問い合わせは122件(前年同期比83.0%)で内訳は以下の通り。



問い合わせ件数の減少については明確な理由に思い至らずわからない。内訳に関しては、「行政・学校」からのものは前年ほぼ同数であったが、他は半分から4分の3となっており、昨年の巣ごもりによるアイスクリームへの興味集中から、人流の増加による興味の分散に変化したのではないと推察する。「行政・学校」からの問い合わせに関しても、学生の研究や子供の夏休みの宿題に関するものは無く、図書館のHPへの掲載やリンクに関する問い合わせだった。

(2) アイスクリームニュース(機関紙)の発行

No274~276 号の 3 回発行し、会員への協会活動内容の報告と必要な情報提供に努めた。

(3) 統計資料の作成

① 2021 年度の「アイスクリーム類及び氷菓販売実績」を作成し、ホームページ、アイスクリームニュース等に掲載して、情報の共有化を行った。

➤ 2021 年度のアイスクリーム類販売金額は 5,258 億円(メーカー出荷ベース)で過去最高。5 年連続で 5,000 億円越え。

② アイスクリーム白書 2022

今年度も例年通りアイスクリーム白書の発行を目的に調査を実施した。スイーツ・デザート的好意度では今年度もアイスクリームが「好きなデザート」の第一位となり、調査開始以来の不動の一位を続けている。

コロナ禍も3年目を迎え、購入や喫食に対するトレンドに大きな変化は見られないが、原材料需給の逼迫や、急激な円安の進行による価格改定に関する設問では、70%の回答者が「価格改定はやむを得ない」との認識を示しており、特に年代が上がれば上がるほどその傾向が強まる結果となっている。

また、40・50 代に関しては購買頻度や購買価格を低減させているとの回答をした方が半数近くに上った。

- アイスクリームはキングオブスイーツで不動の 1 位
- どの季節でも、いちばん好きなフレーバーは「バニラ」
- よく食べる形(タイプ)は「カップ」

③ 家計調査実績(2022 年 1~12 月)

例年通り、総務省家計調査データを活用して、1 世帯当たりの月別支出金額、都道府県庁所在都市別 1 世帯当り支出金額をホームページに掲載した。本年度は3年連続で支出金額が 1 万円を超え、10,847 円となった。

- 食料品支出の 1%がアイスクリームへの支出金額
- 都市別支出金額で金沢市が首位奪還

④ 輸出入統計(2022 年 1~12 月)

財務省の貿易統計を活用し、アイスクリーム類の輸出実績と輸入実績の推移をホームページに公開した。今年は輸出入ともに前年を超え(輸出:122.7%、輸入:115.3%)、物流も平常に戻り始めたと思われる。

- 2019 年は物量ベースで、初めて輸出が輸入を逆転
- 輸出国は台湾、中国、香港の 3 カ国で 54.5%、輸入国はニュージーランドが 61.0%

(4) 第 48 回アイスクリームセミナーの開催(10 月 13 日、於:千代田区内幸町ホール)

昨年同様に参加人数を会員・賛助会員から会場の座席半分程度の約 70 名とし、密を避ける形で以下 2 つの講演内容でセミナーを開催した。



- 「食品衛生をめぐる最近の動向について」
厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 課長 三木 朗 氏
食品衛生法等の一部を改正する法律に関し、施行後の状況について具体的な例を挙げながら講演していただいた。
- 「アサヒ飲料社における CSV の取組みについて」
アサヒ飲料株式会社 未来創造本部CSV戦略部長 相田 幸明氏
注目を集めている CSV 経営について、アサヒ飲料社においてはどのように捉え、各エリアにおいて取り組んでいるのかを実例をもって紹介された。

4. 環境に関する取組みについて

- (1) 2021 年度自主行動計画実績(プラスチック製容器包装排出量&製品生産実績)をプラスチック容器包装リサイクル推進協議会に報告した(8 月末)。
- (2) 今後ともプラ協のセミナーに参画して、環境問題に関連する情報入手と会員に必要な情報提供を継続していく。

5. 社会貢献活動について

例年同様、「5 月 9 日アイスクリームの日」を中心に地区協会より社会福祉施設にアイスクリームの寄贈を行った。コロナ禍でもあることから施設からの要請もあり、やむを得ず宅配便の利用となったケースもあった。

【地区別配布施設数と配布個数】

	施設数	配布数量(個)	備考
北海道	54	3,966	札幌市近郊
東北	19	1,219	宮城県内
関東	45	13,184	東京都・神奈川県
東海	81	5,475	愛知県
近畿	25	4,052	大阪府
中四国	27	2,345	広島県・岡山県 鳥取県・香川県
九州	99	6,239	沖縄を除く全県
合計	350	36,480	

6. その他

(1) 総会、各種会議の開催

- ① 理事会及び理事懇談会(6 月 7 日、11 月 28 日、1 月 24 日)
- ② 定時総会(6 月 7 日)
- ③ 衛生功労者表彰選考委員会(12 月 8 日)
- ④ 全国事務局長会議開催(7 月 8 日、12 月 2 日)
- ⑤ 消費拡大委員会(6 月 16 日、11 月 9 日、2 月 21 日)